

水産物の市況について(令和2年9月及び令和2年10月)

—東京都中央卸売市場における令和2年9月(令和2年8月21日～令和2年9月20日集計)の市況と、
令和2年10月の市況見通し(前月との比較)—

I 令和2年9月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量(水産物の生鮮品、冷凍品及び加工品の合計)は、前月よりやや増加し、前年同月比ではやや減少でした。卸売価格(水産物全体の1キログラム当たり平均価格)は、前月並に推移し、前年同月比でも横ばいに推移しました。

II 令和2年10月の主要品目の市況見通し

「まいわし(生鮮品)」

入荷量は、鮮魚の大型サイズの水揚げが引き続き少ないことからやや減少と見込まれ、卸売価格は、やや強含みと見込まれます。

「さけ・ます(塩蔵品・冷凍品)」

入荷量は、銀ざけを主体に全体では増加すると見込まれ、卸売価格は、やや弱含みと見込まれます。

「さば(生鮮品)」

入荷量は、横ばいと見込まれ、卸売価格は、低調な漁獲が当面続くことからやや強含みと見込まれます。

「するめいか(生鮮品・冷凍品)」

入荷量は、横ばいと見込まれ、卸売価格は、横ばいと見込まれます。

「あじ(生鮮品)」

入荷量は、減少すると見込まれ、卸売価格は、やや強含みと見込まれます。

「まぐろ(冷凍品)」

入荷量は、全体では横ばいと見込まれ、卸売価格は、需要が引き続き弱く、全体では横ばいと見込まれます。

「かつお(生鮮品)」

入荷量は終漁が近いことから減少すると見込まれ、卸売価格はやや強含みと見込まれます。

「さんま(生鮮品)」

入荷量は、新物の水揚げが少ないことから昨年漁獲した解凍物の入荷が引き続き多いと見込まれるものの、水揚げ全体が例年になく極めて低調なことから、卸売価格は、強含みと見込まれます。

凡例(目安)

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	横ばい	横ばい
3～10	やや増加(減少)	やや強(弱)含み
11～20	増加(減少)	強(弱)含み
21～50	かなり増加(減少)	かなり強(弱)含み
51～	大幅に増加(減少)	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)

(単位:千トン、円/kg)

	9月		前月		前々月	
	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格
2年	30	1,069	28	1,078	29	1,067
前年	32	1,095	28	1,146	32	1,070

注1:入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

2:入荷量は生鮮品、冷凍品及び加工品の合計。

主 要 品 目 の 価 格

(単位:円/kg、%)

	東京都中央卸売市場卸売価格(概数)			
	9月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
いわし(生鮮品)	455	95	112	114
さけ・ます(平均)	800	99	84	83
(ぎんざけ塩蔵品)	749	96	75	78
(あきさけ塩蔵品)	1,021	101	108	110
(ときさけ塩蔵品)	1,150	101	114	105
(べにざけ塩蔵品)	1,230	101	84	99
(さけ類冷凍品)	755	97	87	82
さば(生鮮品)	373	97	64	71
するめいか(平均)	805	108	96	117
(生鮮品)	781	107	94	114
(冷凍品)	996	105	113	143
あじ(生鮮品)	632	101	94	111
まぐろ(冷凍品)	1,274	104	88	84
(めばち冷凍品)	849	100	82	78
(きはだ冷凍品)	886	96	107	88
(くろまぐろ冷凍品)	2,845	98	88	83
(みなみまぐろ冷凍品)	1,705	103	88	83
かつお(生鮮品)	501	88	102	84
さんま(生鮮品)	1,322	163	120	178

注1:品目により、市場で水産物の大きさ等が異なることから、主要な水産物の価格データを掲載。

注2:9月の価格は1～20日までの速報値を元に算出。平年とは平成27年～令和元年の加重平均値。

注3:さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、ときさけ、べにざけ及びアトランティックサーモンが含まれる。

注4:さけ・ます(平均)は、さけ・ます類全般の塩蔵品及び冷凍品が含まれる。

注5:まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ及びみなみまぐろが含まれる。

問合せ先:水産庁加工流通課企画調査班

代表 03-3502-8111

内線 6617 佐藤、小山、山口

直通 03-3591-5612